



## 平成29年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社トライアイズ  
 コード番号 4840 URL http://www.triis.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池田 均  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 小出 美紀 TEL 03-3221-0211  
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年12月期第2四半期の連結業績（平成29年1月1日～平成29年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第2四半期	1,048	27.3	53	—	89	—	38	—
28年12月期第2四半期	823	△43.4	△112	—	△212	—	△247	—

(注) 包括利益 29年12月期第2四半期 114百万円 (—%) 28年12月期第2四半期 △242百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第2四半期	4.50	4.23
28年12月期第2四半期	△28.12	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第2四半期	6,107	80.5	5,069	80.5		
28年12月期	5,860	84.1	5,083	84.1		

(参考) 自己資本 29年12月期第2四半期 4,914百万円 28年12月期 4,929百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	0.00	—	12.00	12.00
29年12月期	—	0.00	—	—	—
29年12月期（予想）	—	—	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成29年12月期の連結業績予想（平成29年1月1日～平成29年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,123	34.5	88	—	100	—	20	—	2.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年12月期2Q	9,500,000株	28年12月期	9,500,000株
② 期末自己株式数	29年12月期2Q	1,035,310株	28年12月期	978,220株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年12月期2Q	8,469,418株	28年12月期2Q	8,784,327株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府及び日銀の政策を背景に雇用状況や企業収益に改善が見られ、緩やかな改善基調が継続しております。

一方、米国新政権の政策動向、中国をはじめとする東アジアの経済動向などの世界経済の不確実性により、先行き不透明な状況が継続しております。

このような経済環境のなか、トライアイズグループは、景気変動の影響を受けない企業グループとして、小さくとも知性を使って、その世界ではNo. 1となり光る企業グループを目指すという方針のもと、「イノベーションによるコスト優位の確立」を最重要目標とし、売上が減少しても黒字化できる体質づくりを続けており、連結ベースで営業利益、経常利益及び最終利益の黒字化を目指しております。

この結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は1,048百万円(前年同期比27.3%増)、販売費及び一般管理費は436百万円(前年同期比9.2%減)と更なる削減を実現しており、営業利益は53百万円(前年同期は112百万円の営業損失)、経常利益は89百万円(前年同期は212百万円の経常損失)、税金等調整前四半期純利益は86百万円(前年同期は215百万円の税金等調整前四半期純損失)、親会社株主に帰属する四半期純利益は38百万円(前年同期は247百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメント別の業績は以下のとおりです。

## (建設コンサルタント事業)

建設コンサルタント事業においては、従来型ダム関連業務、河川防災・減災対策業務および海岸保全業務を中心に受注しました。引き続き、発注比率が高まっている防災・減災対策関連業務やダム、河川構造物、海岸・港湾分野の維持管理を中心とした継続性の高い業務の受注シェア拡大と生産性の向上により、収益の改善を図ります。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前期からずれ込んでいた大型案件の計上をしたことにより602百万円(前年同期比72.4%増)、営業利益は14百万円(前年同期は150百万円の営業損失)となりました。

## (ファッションブランド事業)

ファッションブランド事業においては、Eコマースによる消費が拡大しているものの、消費者の節約志向が依然として強く、引き続き厳しい経営環境となりました。そういったなか、東京ブラウス(株)では、ブランドCLATHRASについて、新たな顧客を獲得するため、今後成長が見込める販路の開拓を進めております。また、台湾現地法人の拓莉司国際有限公司においては、現地パートナーと新しい商品開発を進めており、国内外を問わず、ライセンス事業の強化による収益の拡大を図ります。

濱野皮革工藝(株)については、4月よりブランドマーク・ブランドロゴをリニューアルし、これまでの130年余の伝統と技術を継承しながら、ブランド価値を向上させるための施策に取り組んでおります。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は411百万円(前年同期比13.2%減)、営業利益は32百万円(前年同期比15.7%減)となりました。

## (投資事業)

投資事業においては、引き続き米国の子会社TRIIS INTERNATIONAL AMERICA INC.において、住居用物件と工業用物件の賃貸をしております。さらに、商業用物件の取得についても検討しております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は35百万円(前年同期は0百万円)、営業利益は5百万円(前年同期は9百万円の営業損失)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ247百万円増加し、6,107百万円となりました。これは主に、流動資産「その他」及び「のれん」がそれぞれ92百万円、70百万円減少したものの、「現金及び預金」及び「投資有価証券」がそれぞれ332百万円、107百万円増加したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ260百万円増加し、1,038百万円となりました。これは主に、「前受金」及び「未払法人税等」がそれぞれ65百万円、38百万円増加したことに加え、流動負債の「その他」が132百万円増加したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ13百万円減少し、5,069百万円となりました。これは主に、配当金の支払に伴う利益剰余金102百万円の減少、親会社株主に帰属する四半期純利益計上に伴う利益剰余金38百万円の増加、為替相場の変動による「為替換算調整勘定」75百万円の増加及び「自己株式」18百万円の増加によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、1,760百万円となり、連結会計年度末に比べ786百万円減少となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は437百万円(前年同期は201百万円の回収)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益86百万円に加え、のれんの償却額70百万円、たな卸資産の減少79百万円、前受金の増加65百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1,106百万円(前年同期は199百万円の使用)となりました。これは主に、定期預金預け入れによる支出1,112百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は147百万円(前年同期は127百万円の使用)となりました。これは主に配当金の支払103百万円、自己株式の取得による支出41百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、平成29年2月15日に公表しました通期連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,538,093	2,870,473
受取手形及び売掛金	125,438	140,202
商品及び製品	229,927	195,662
仕掛品	185,572	135,147
原材料及び貯蔵品	44,538	49,233
繰延税金資産	44,442	44,438
その他	154,876	62,623
貸倒引当金	△7	△8
流動資産合計	3,322,881	3,497,773
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	754,730	780,616
土地	1,178,220	1,198,260
その他(純額)	16,069	14,179
有形固定資産合計	1,949,021	1,993,055
無形固定資産		
のれん	174,834	104,147
その他	44,974	41,070
無形固定資産合計	219,808	145,218
投資その他の資産		
投資有価証券	175,387	283,299
その他	211,157	206,642
貸倒引当金	△17,328	△18,035
投資その他の資産合計	369,216	471,906
固定資産合計	2,538,046	2,610,180
資産合計	5,860,928	6,107,953

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	54,372	30,656
1年内返済予定の長期借入金	5,605	6,043
未払法人税等	13,996	52,684
賞与引当金	—	33,162
受注損失引当金	19,936	18,061
返品調整引当金	4,168	4,386
前受金	204,805	270,197
その他	155,085	287,448
流動負債合計	457,971	702,640
固定負債		
長期借入金	204,114	213,584
資産除去債務	20,648	27,051
その他	94,999	94,999
固定負債合計	319,762	335,636
負債合計	777,734	1,038,277
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000,000	5,000,000
資本剰余金	1,098,485	1,090,795
利益剰余金	△761,649	△825,839
自己株式	△337,274	△355,653
株主資本合計	4,999,560	4,909,302
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△70,500	5,442
その他の包括利益累計額合計	△70,500	5,442
新株予約権	154,134	154,931
純資産合計	5,083,194	5,069,676
負債純資産合計	5,860,928	6,107,953

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
売上高	823,393	1,048,496
売上原価	455,097	558,529
売上総利益	368,296	489,966
販売費及び一般管理費	481,108	436,877
営業利益又は営業損失(△)	△112,812	53,088
営業外収益		
受取利息	3,914	14,037
デリバティブ評価益	—	7,911
投資有価証券清算分配金	5,766	6,088
不動産賃貸収入	9,340	8,750
未払配当金除斥益	5,285	6,110
その他	1,458	1,196
営業外収益合計	25,765	44,095
営業外費用		
支払利息	—	3,439
投資有価証券売却損	5,689	—
有価証券売却損	44,749	—
有価証券評価損	10,970	—
不動産賃貸原価	2,944	3,427
支払手数料	204	345
為替差損	60,421	26
その他	82	183
営業外費用合計	125,061	7,423
経常利益又は経常損失(△)	△212,108	89,761
特別損失		
減損損失	2,811	2,874
その他	305	0
特別損失合計	3,116	2,874
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△215,225	86,886
法人税等	31,824	48,814
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△247,049	38,071
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△247,049	38,071



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△247,049	38,071
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	37,470	—
為替換算調整勘定	△33,075	75,942
その他の包括利益合計	4,394	75,942
四半期包括利益	△242,655	114,014
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△242,655	114,014

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△215,225	86,886
減価償却費	14,316	22,403
減損損失	2,811	2,874
のれん償却額	70,686	70,686
株式報酬費用	15,393	15,869
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△300	707
賞与引当金の増減額(△は減少)	35,853	33,162
受注損失引当金の増減額(△は減少)	6,721	△1,874
返品調整引当金の増減額(△は減少)	786	218
受取利息及び受取配当金	△3,914	△14,037
有価証券売却損益(△は益)	44,749	—
有価証券評価損益(△は益)	10,970	—
デリバティブ評価損益(△は益)	—	△7,911
投資有価証券売却損益(△は益)	5,689	—
投資有価証券清算分配金	△5,766	△6,088
為替差損益(△は益)	60,459	25
支払利息	—	3,439
売上債権の増減額(△は増加)	255,258	△14,528
破産更生債権等の増減額(△は増加)	300	300
たな卸資産の増減額(△は増加)	△53,759	79,994
未収入金の増減額(△は増加)	△2,062	591
仕入債務の増減額(△は減少)	△13,498	△23,716
前受金の増減額(△は減少)	99,610	65,391
未払金の増減額(△は減少)	△68,430	△53,764
その他	△63,584	167,294
小計	197,066	427,922
利息及び配当金の受取額	3,914	14,040
利息の支払額	—	△3,439
法人税等の還付額	23,586	11,923
法人税等の支払額	△14,244	△13,050
厚生年金基金脱退による支出	△9,015	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	201,308	437,397
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	△1,112,900
有形固定資産の取得による支出	△200,219	△138
無形固定資産の取得による支出	△155	△6,283
有価証券の取得による支出	△100,000	—
投資有価証券の清算による収入	5,766	6,088
投資有価証券の取得による支出	△191,202	—
投資有価証券の売却による収入	287,341	—
貸付けによる支出	△1,200	△840
貸付金の回収による収入	3,491	8,224
その他	△3,131	△1,026
投資活動によるキャッシュ・フロー	△199,310	△1,106,875

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	—	△2,951
自己株式の処分による収入	3,124	291
自己株式の取得による支出	△24,505	△41,431
配当金の支払額	△105,810	△103,726
財務活動によるキャッシュ・フロー	△127,191	△147,818
現金及び現金同等物に係る換算差額	△110,537	30,374
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△235,730	△786,921
現金及び現金同等物の期首残高	3,570,445	2,547,300
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,334,715	1,760,378

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益又は税引前当期純損失に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。但し、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	建設コンサル タント事 業	ファッショ ンブランド 事業	投資事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	349,293	473,687	411	823,393	—	823,393
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	869	—	869	△869	—
計	349,293	474,557	411	824,263	△869	823,393
セグメント利益又は損失(△)	△150,128	38,701	△9,285	△120,711	7,899	△112,812

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額7,899千円には、セグメント間取引消去12,420千円、各報告セグメントに配分していない全社収益及び全社費用の純額△4,520千円が含まれております。全社収益は、主に子会社からの経営指導料であり、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結累計期間において減損損失を「建設コンサルタント事業」で2,811千円を計上しております。

## 3. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第1四半期連結会計期間において、TRIIS INTERNATIONAL AMERICA INC. を設立し、連結の範囲に含めております。これにより、前連結会計年度の末日と比べ、当第2四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「投資事業」において1,096,115千円増加しております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	建設コンサル タント事 業	ファッショ ンブランド 事業	投資事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	602,333	411,065	35,096	1,048,496	—	1,048,496
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	2,118	—	2,118	△2,118	—
計	602,333	413,183	35,096	1,050,614	△2,118	1,048,496
セグメント利益	14,613	32,642	5,701	52,957	130	53,088

- (注) 1. セグメント利益の調整額130千円には、セグメント間取引消去12,259千円、各報告セグメントに配分していない全社収益及び全社費用の純額△12,128千円が含まれております。全社収益は、主に子会社からの経営指導料であり、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結累計期間において減損損失を「建設コンサルタント事業」で2,874千円を計上しております。